

中学校保健体育科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点		
1	1	それぞれの運動が有する特性や魅力に応じて、その楽しさや喜びを味わおうとするとともに、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなどの意欲や健康・安全への態度、運動を合理的に実践するための運動の技能や知識、それらを運動実践に活用するなどの思考力、判断力。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12	
	2	(a) 特別活動		各4×3	
		(b) 継続的			
		(c) 計画的			
3	下線部① 7単位時間以上		各3×2		
	下線部② 3単位時間以上				
2	1	ほぼ定速で走る区間の走りのこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	4	
	2	・スタートダッシュでは、地面を力強くキックすること。 ・徐々に上体を起こしていき加速すること。 ・後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのない動きで走ること。 ・後半でスピードが著しく低下しないよう、リズムカルな動きで走ること。	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各4×2	
	3	・リズムカルに腕を振ること。 ・力みのないフォームで軽快に走ること。 ・呼吸を楽にする呼吸法を取り入れて走ること。 ・走りのリズムを作る呼吸法を取り入れて走ること。	2つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各4×2	
3	1	突然の心停止直後に見られる、しゃくりあげるような途切れ途切れの呼吸のこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6	
	2	圧迫の位	圧迫するのは胸の左右の真ん中にある「胸骨」と呼ばれる縦長の平らな骨の下半分である。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
		圧迫の法	胸骨の下半分に一方の手のひらの基部を当て、その手の上にもう一方の手を重ねて置く。圧迫は手のひら全体で行うのではなく、手のひらの基部だけに力が加わるようにする。垂直に体重が加わるよう両肘をまっすぐに伸ばし、圧迫部位の真上に肩がくるような姿勢をとる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
テンポ	傷病者の胸が約5 cm 沈み込むように強く、速く圧迫を繰り返す。圧迫のテンポは1分間に100～120回である。胸骨圧迫は可能な限り中断せずに、絶え間なく行う。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6		

中学校保健体育科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点								
4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸は、水中で、鼻と口で行うこと。 ・呼吸は、徐々に吐き出し始め、最後は力強く吐き出すこと。 ・吸気は、体の中心を軸にして顔を横に上げ、口で行い、素早く、大きく吸い込むこと。 ・一方の腕で、体の下をかく間に呼吸し、水面上で抜き上げながら顔をだし、肩の横まで戻す間に吸気すること。 ・呼吸から吸気は連続させること。 	3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 3							
	2	壁を蹴った後の水中での抵抗の少ない流線型の姿勢をとり、失速する前に力強い浮き上がりのためのキックを打ち、より速いスピードで泳ぎ始めることができるようにすること。特に、スタートの局面として、「壁に足をつける」、「力強く蹴り出す」、「泳ぎ始める」といった各局面を各種の泳法に適した、手と足の動きで素早く行い、これらの局面を一連の動きでできるようにすること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10 34							
	3	<table border="1"> <tr> <td>個人メドレー</td> <td>バタフライ→背泳ぎ→平泳ぎ→自由形</td> </tr> <tr> <td>メドレーリレー</td> <td>背泳ぎ→平泳ぎ→バタフライ→自由形</td> </tr> </table>	個人メドレー	バタフライ→背泳ぎ→平泳ぎ→自由形	メドレーリレー	背泳ぎ→平泳ぎ→バタフライ→自由形	全部合っているものだけを正答とする。	各 6 × 2			
個人メドレー	バタフライ→背泳ぎ→平泳ぎ→自由形										
メドレーリレー	背泳ぎ→平泳ぎ→バタフライ→自由形										
5	1	B→C→A→D	全部合っているものだけを正答とする。	4							
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバーが、サービスを不当に遅らせた場合。 ・サービス時にサーバーが、サービスコートの境界線に触れたり、踏み越した場合。 ・サービスを始めてから終わるまでの間、サーバーの両足の一部分が、コート面に接していなかった場合。 ・サービスを始めてから終わるまでの間、サーバーがコート面に接している足の位置を動かした場合。 ・サーバーがシャトルの台の部分以外を最初に打った場合。 ・サーバーのラケットでシャトルが打たれる瞬間に、シャトル全体がサーバーのウエストより上にあつた場合。 ・サーバーが持つラケットのシャフトが、シャトルを打つ瞬間に、下向きでなかった場合。 ・サービスを始めてから終わるまでの間、サーバーがラケットの前方への動きを継続しなかった場合。 ・サーバーが打ったシャトルが、レシーバーのサービスコート外に落ちた場合。 ・サーバーが打ったシャトルが、ネットの上を超えなかった場合。 ・サーバーが打ったシャトルが、ラケットから上向きに飛行しなかった場合。 ・サーバーが、シャトルを空振りした場合。 ・サーバーが打ったシャトルが、ネットの上に乗った場合。 ・サーバーが打ったシャトルが、ネットを越えた後、ネットにひっかかった場合。 	3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 3 32							
	3	<table border="1"> <tr> <td>(a)</td> <td>(イ)</td> </tr> <tr> <td>(b)</td> <td>(ウ)</td> </tr> <tr> <td>(c)</td> <td>(エ)</td> </tr> <tr> <td>(d)</td> <td>(ア)</td> </tr> </table>	(a)	(イ)	(b)	(ウ)	(c)	(エ)	(d)	(ア)	
(a)	(イ)										
(b)	(ウ)										
(c)	(エ)										
(d)	(ア)										

中学校保健体育科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・構え ・体さばき ・基本打突の仕方 ・基本打突の受け方 		3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 3	24
	2	(エ)			9	
7	1	技 の 名 称	後方膝かけ回転	後方片膝かけ回転 もよい。	6	36
			BはAと比べて、肘が曲がり腰の位置が落ちているため、回転の勢いをつくりにくいいため、技ができる可能性が低い。 技ができるようになるためには、Aのように、肘を伸ばし腰の位置が落ちないようにして、回転の勢いをつくるのが重要である。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	1.2	
	演 技 の 例	膝かけ上がり→前方膝かけ回転→後方ももかけ回転→踏み越し下り	「上がる一回る一下りる」で構成されていること。	10		
	2	技の組合せの流れに着目して、「上がる一回る一下りる」に構成し演技すること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8		